

沖縄県データアップデート  
院内がん登録5年生存率集計報告書から  
(大腸がん)

2023年8月4日

国際医療福祉大学大学院教授  
埴岡健一

# 趣旨

- 沖縄県では、大腸がん死亡率の低減が課題となり、大腸がんプロジェクトが推進されている
- 国の院内がん登録5年生存率集計（2014-2015年）報告書が公表された
- 沖縄県の大腸がん5年生存率に関して、全国と対比した位置と、県内の個別病院データを確認しておく

院内がん登録 2014-2015 年 5 年生存率集計 報告書  
国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター

## 付表 2. 都道府県別 2014-2015 年 5 年生存率集計

がん診療連携拠点病院院内がん登録 2014-2015 年 5 年生存率集計 報告書  
国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター院内がん登録分析室

## 付表 3. 施設別 2014-2015 年 5 年生存率集計

## 実測生存率

死因に関係なく、全ての死亡を計算に含めた生存率で、診断例に対する何年後の生存患者の割合で示される。計算方法は複数存在するが、Kaplan-Meier法による実測生存率であることが多く、本報告においてもKaplan-Meier法を用いて実測生存率を算出している。

## 相対生存率

実測生存率を対象と同じ性・年齢、診断年（歴年）の一般の日本人集団で「がんではなかった場合の生存率」という考えによる期待生存率を算出し、それで実測生存率を割って算出する方法である。疾患特異的生存率のように個々の死因を把握する必要がないため、これまで院内がん登録生存率集計でも用いてきた。一方で、生存率の高いがん種では理論上100%以上となるなど課題も多いことが知られている。

## ネット・サバイバル(Net Survival,純生存率)

期待生存率を算出することなく純粹に「がんのみが死因となる状況」を仮定して計算する純生存率（Net Survival, ネット・サバイバル）を計算する方法がPohar-Perme法である。この方法は国際的にも広く採用されている方法であり、本報告においても相対生存率に代わりネット・サバイバルを採用した。

# 5年生存率

付表2-3-1 5年生存率:大腸がん(大腸癌)、都道府県別

2014-2015年

	集計対象 施設数	集計対象 者数	死亡者 数	打ち切り者 数	把握割合 (%)	実測生存 率(%)	ネット・サバ イバル(%)	95%CI low	95%CI high
全体	443	116,826	42,016	2,166	98	63.8	70.9	70.6	71.2
沖縄	7	1,012	426	10	99.0	57.8	63.3	59.8	66.7

付表2-3-1① 5年生存率:大腸がん(大腸癌)Ⅰ期、都道府県別

2014-2015年

	集計対象者 数	死亡者 数	打ち切り者 数	把握割合 (%)	実測生存率 (%)	ネット・サバ イバル(%)	95%CI low	95%CI high
全体	31,960	5,357	697	97.8	83.1	92.3	91.8	92.8
沖縄	244	46	(1-3)	98.8	81.1	87.8	82.0	93.6

付表2-3-1② 5年生存率:大腸がん(大腸癌)Ⅱ期、都道府県別

2014-2015年

	集計対象者 数	死亡者 数	打ち切り者 数	把握割合 (%)	実測生存率 (%)	ネット・サバ イバル(%)	95%CI low	95%CI high
全体	30,099	7,269	601	98.0	75.6	85.5	84.9	86.1
沖縄	243	68	(1-3)	99.6	72.0	80.0	73.2	86.9

# 5年生生存率

付表2-3-1③ 5年生生存率:大腸がん(大腸癌)Ⅲ期、都道府県別

2014-2015年

	集計対象者 数	死亡者 数	打ち切り者 数	把握割合 (%)	実測生存率 (%)	ネット・サバ イバル(%)	95%CI low	95%CI high
全体	30,592	9,491	544	98.2	68.7	75.5	74.9	76.1
沖縄	273	91	(4-6)	98.5	66.6	72.4	66.1	78.7

付表2-3-1④ 5年生生存率:大腸がん(大腸癌)Ⅳ期、都道府県別

2014-2015年

	集計対象者 数	死亡者 数	打ち切り者 数	把握割合 (%)	実測生存率 (%)	ネット・サバ イバル(%)	95%CI low	95%CI high
全体	22,366	18,405	280	98.7	17.0	18.3	17.7	18.8
沖縄	231	203	(1-3)	99.6	12.1	12.8	8.4	17.3

# 性別、年齢階級別

付表2-3-2 大腸がん(大腸癌)集計対象数:都道府県、性別

2014-2015年

	男性	(%)	女性	(%)	全体	(%)
全体	68,111	58.3	48,715	41.7	116,826	100.0
沖縄	629	62.2	383	37.8	1,012	100.0

付表2-3-3 大腸がん(大腸癌)集計対象数:都道府県、年齢階級別

2014-2015年

	50歳未満	(%)	50歳代	(%)	60歳代	(%)	70歳代	(%)	80歳以上	(%)	全体	(%)
全体	6,405	5.5	12,813	11.0	33,207	28.4	38,969	33.4	25,432	21.8	116,826	100.0
沖縄	70	6.9	166	16.4	295	29.2	255	25.2	226	22.3	1,012	100.0

## ステージ別、治療別、発見経緯別

付表2-3-4 大腸がん(大腸癌)集計対象数:都道府県、UICC TNM分類総合ステージ別 2014-2015年

	I 期	(%)	II 期	(%)	III 期	(%)	IV 期	(%)	不詳	(%)	全体	(%)
全体	31,960	27.4	30,099	25.8	30,592	26.2	22,366	19.1	1,809	1.5	116,826	100.0
沖縄	244	24.1	243	24.0	273	27.0	231	22.8	21	2.1	1,012	100.0

付表2-3-5 大腸がん(大腸癌)集計対象数:都道府県、観血的治療実施別 2014-2015年

	無 (%)		有 (%)							全体 (%)		
			原発巣・ 治癒切除 (%)		原発巣・ 非治癒切 除 (%)		原発巣・ 治癒/非 治癒の別 不詳 (%)					
全体	16,509	14.1	100,317	85.9	90,405	77.4	8,455	7.2	1,457	1.2	116,826	100.0
沖縄	244	24.1	768	75.9	732	72.3	32	3.2	(4-6)	0.4	1,012	100.0

付表2-3-6 大腸がん(大腸癌)集計対象数:都道府県、発見経緯別 2014-2015年

	がん検診	(%)	健康診断・ 人間ドック	(%)	他疾患経過 観察中	(%)	その他	(%)	全体	(%)
全体	12,064	10.3	9,730	8.3	28,428	24.3	66,604	57.0	116,826	100.0
沖縄	117	11.6	55	5.4	225	22.2	615	60.8	1,012	100.0

## 大腸がん(大腸癌)

### 5年生存率

	対象数	死亡数	打ち切り数	生存状況把握割合(%)	実測生存率	95%CI low	95%CI high	平均年齢(歳)
全体	169	63	(1-3)	98.8	62.6	54.8	69.4	70.2
I期	42	(1-3)	(1-3)	97.6	92.9	79.5	97.6	70.8
II期	51	12	0	100.0	76.5	62.3	85.9	71.3
III期	44	20	(1-3)	97.7	53.9	38.1	67.3	66.7
IV期	31	27	0	100.0	12.9	4.1	27.0	72.6

### 属性別集計対象数

性別	男性	女性				
対象数	99	70				
%	58.6	41.4				
年代	50歳未満	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	
対象数	11	25	37	48	48	
%	6.5	14.8	21.9	28.4	28.4	
UICC TNM分類総合ステージ	I期	II期	III期	IV期	不詳	空欄
対象数	42	51	44	31	(1-3)	0
%	24.9	30.2	26.0	18.3		
観血的治療の実施	無	有	治癒切除	非治癒切除	別不詳	
対象数	27	142	131	11	0	
%	16.0	84.0	77.5	6.5		
発見経緯	がん検診	健康診断	他疾患観察中	その他		
対象数	20	13	36	100		
%	11.8	7.7	21.3	59.2		

全国  
実測生存率  
全体 63.8  
I期 83.1  
II期 75.6  
III期 68.7  
IV期 17.0

大腸がんについて実測生存率は全国63.8%に対し、当院62.6%と胃がんと同様わずかに低い値でした。この要因として、当院の特?としては、UICCTNM分類総合ステージのII期の割合が全国25.8%に対し、当院 30.2%と高く、進行した状態で当院を受診し治療を受けている患者が多いことが推察されます。また、80歳以上の患者さん割合は全国21.8%に対し、当院28.4%と、やはり胃がんと同様、高齢の患者が多いことが推察されます。

## 大腸がん(大腸癌)

5年生存率

	対象数	死亡数	打ち切り数	生存状況把握割合(%)	実測生存率	95%CI low	95%CI high	平均年齢(歳)
全体	192	89	(1-3)	99.0	53.6	46.3	60.3	68.6
I期	45	16	(1-3)	97.8	64.4	48.7	76.5	68.9
II期	35	(7-9)	(1-3)	97.1	74.2	56.2	85.6	70.5
III期	60	21	0	100.0	65.0	51.5	75.6	67.4
IV期	50	41	0	100.0	18.0	8.9	29.7	67.9

### 属性別集計対象数

性別	男性	女性						
対象数	122	70						
%	63.5	36.5						
年代	50歳未満	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代			
対象数	13	35	56	48	40			
%	6.8	18.2	29.2	25.0	20.8			
UICC TNM分類総合ステージ	I期	II期	III期	IV期	不詳	空欄		
対象数	45	35	60	50	(1-3)	0		
%	23.4	18.2	31.3	26.0				
観血的治療の実施	無	有	治癒切除	非治癒切除	別不詳			
対象数	59	133	124	(7-9)	(1-3)			
%	30.7	69.3	64.6					
発見経緯	がん検診	健康診断	他疾患観察中	その他				
対象数	13	11	39	129				
%	6.8	5.7	20.3	67.2				

**全国  
実測生存率**

全体	63.8
I期	83.1
II期	75.6
III期	68.7
IV期	17.0

## 【大腸がん】

大腸癌全体の5年実測生存率は、当院は53.6%、沖縄県は57.8%、全国では63.8%となっています。ステージ別ではI期の生存率が64.4%と、II期やIII期の生存率よりも低くなっていますが、こちらも当院にて原死因を調査したところ、I期で亡くなられた方の内、約63%は他の部位のがんや、がん以外の疾患が原因であり、大腸癌が原因の方は約6%で、かつ高齢のため手術を行わなかった症例でした。

年代別では、当院は全国と比べ50歳代以下の割合が高くなっていますが、当院にて調査したところ、50歳代以下の約33%がIII期、約31%がIV期で、進行した症例が多くなっていました。

ステージ別ではIV期の割合が26.0%と、全国の19.1%に比べて高くなっており、観血的治療の実施一無の割合も30.7%と、全国の14.1%に比べて高くなっております。また、発見経緯においてがん検診や人間ドック等の割合が少なく、その他（症状受診）の割合が全国と比較して高く、当院は救急病院であることから症状を有する進行した状態で受診する患者さんが多い傾向にあることが考えられます。

## 大腸がん(大腸癌)

### 5年生存率

	対象数	死亡数	打ち切り数	生存状況把握割合(%)	実測生存率	95%CI low	95%CI high	平均年齢(歳)
全体	134	50	(1-3)	97.8	62.4	53.6	70.0	64.4
I期	41	(4-6)	(1-3)	97.6	90.0	75.5	96.1	64.5
II期	23	(7-9)	0	-	-	-	-	-
III期	34	10	(1-3)	97.1	70.5	52.1	82.9	66.1
IV期	35	29	(1-3)	97.1	16.7	6.5	30.8	60.2

### 属性別集計対象数

性別	男性	女性						
対象数	88	46						
%	65.7	34.3						
年代	50歳未満	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代			
対象数	12	32	42	38	10			
%	9.0	23.9	31.3	28.4	7.5			
UICC TNM分類総合ステージ	I期	II期	III期	IV期	不詳	空欄		
対象数	41	23	34	35	(1-3)	0		
%	30.6	17.2	25.4	26.1				
観血的治療の実施	無	有	治癒切除	非治癒切除	別不詳			
対象数	50	84	79	(4-6)	(1-3)			
%	37.3	62.7	59.0					
発見経緯	がん検診	健康診断	他疾患観察中	その他				
対象数	13	13	28	80				
%	9.7	9.7	20.9	59.7				

全国  
実測生存率  
全体 63.8  
I期 83.1  
II期 75.6  
III期 68.7  
IV期 17.0

「大腸がん」の全体の実測生存率63.8%に対して、琉球大学病院は62.4%と大きな違いはみられませんでした。

大腸がん(大腸癌)

5年生存率

	対象数	死亡数	打ち切り数	生存状況把握割合(%)	実測生存率	95%CI low	95%CI high	平均年齢(歳)
全体	236	96	0	100.0	59.3	52.8	65.3	67.9
I 期	46	(4-6)	0	100.0	87.0	73.3	93.9	69.0
II 期	64	13	0	100.0	79.7	67.6	87.7	70.7
III 期	61	17	0	100.0	72.1	59.1	81.7	64.1
IV 期	60	55	0	100.0	8.3	3.1	17.0	66.3

属性別集計対象数

性別	男性	女性						
対象数	149	87						
%	63.1	36.9						
年代	50歳未満	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代			
対象数	19	43	68	58	48			
%	8.1	18.2	28.8	24.6	20.3			
UICC TNM分類総合ステージ	I期	II期	III期	IV期	不詳	空欄		
対象数	46	64	61	60	(4-6)	0		
%	19.5	27.1	25.8	25.4				
観血的治療の実施	無	有	治癒切除	非治癒切除	別不詳			
対象数	62	174	174	0	0			
%	26.3	73.7	73.7					
発見経緯	がん検診	健康診断	他疾患観察中	その他				
対象数	46	0	56	134				
%	19.5		23.7	56.8				

全国  
実測生存率  
全体 63.8  
I 期 83.1  
II 期 75.6  
III 期 68.7  
IV 期 17.0

特になし

## 大腸がん(大腸癌)

5年生存率

	対象数	死亡数	打ち切り数	生存状況把握割合(%)	実測生存率	95%CI low	95%CI high	平均年齢(歳)
全体	122	58	(1-3)	97.5	52.1	42.9	60.6	71.4
I期	19	(1-3)	0	-	-	-	-	-
II期	37	16	0	100.0	56.8	39.4	70.8	71.1
III期	39	15	(1-3)	94.9	61.4	44.4	74.7	71.3
IV期	23	22	0	-	-	-	-	-

### 属性別集計対象数

性別	男性	女性						
対象数	76	46						
%	62.3	37.7						
年代	50歳未満	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代			
対象数	(4-6)	12	42	24	39			
%		9.8	34.4	19.7	32.0			
UICC TNM分類総合ステージ	I期	II期	III期	IV期	不詳	空欄		
対象数	19	37	39	23	(4-6)	0		
%	15.6	30.3	32.0	18.9				
観血的治療の実施	無	有	治癒切除	非治癒切除	別不詳			
対象数	14	108	108	0	0			
%	11.5	88.5	88.5					
発見経緯	がん検診	健康診断	他疾患観察中	その他				
対象数	15	(1-3)	26	80				
%	12.3		21.3	65.6				

**全国  
実測生存率**  
**全体 63.8**  
**I期 83.1**  
**II期 75.6**  
**III期 68.7**  
**IV期 17.0**

特になし

## 大腸がん(大腸癌)

5年生存率

	対象数	死亡数	打ち切り数	生存状況把握割合(%)	実測生存率	95%CI low	95%CI high	平均年齢(歳)
全体	145	58	0	100.0	60.0	51.6	67.5	69.9
I期	48	13	0	100.0	72.9	58.0	83.3	67.9
II期	33	11	0	100.0	66.7	47.9	80.0	73.6
III期	34	(7-9)	0	100.0	79.4	61.6	89.6	68.0
IV期	26	23	0	-	-	-	-	-

## 属性別集計対象数

性別	男性	女性						
対象数	84	61						
%	57.9	42.1						
年代	50歳未満	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代			
対象数	(7-9)	17	48	33	38			
%		11.7	33.1	22.8	26.2			
UICC TNM分類総合ステージ	I期	II期	III期	IV期	不詳	空欄		
対象数	48	33	34	26	(4-6)	0		
%	33.1	22.8	23.4	17.9				
観血的治療の実施	無	有	治癒切除	非治癒切除	別不詳			
対象数	23	122	111	10	(1-3)			
%	15.9	84.1	76.6	6.9				
発見経緯	がん検診	健康診断	他疾患観察中	その他				
対象数	10	15	33	87				
%	6.9	10.3	22.8	60.0				

全国  
実測生存率  
全体 63.8  
I期 83.1  
II期 75.6  
III期 68.7  
IV期 17.0

## 【大腸がん】

わが国における大腸がんの罹患率は増加傾向にあり、国立がん研究センターの人口動態統計による都道府県別がん死亡データによりますと、2021年沖縄県の大腸がんによる死亡率は、男性が1位、女性30位、男女計3位と高く、現在も深刻な問題となっております。

今回の2014-2015年5年生存率集計における罹患男女別で、男性においては、当院57.9%、全国58.3%、沖縄県62.2%、女性は、当院42.1%、全国41.7%、沖縄県37.8%となっており、全国、沖縄県同様、男性の割合が高くなっております。診断時年齢は、当院は60歳代が最も多く、次いで80歳代、全国は、70歳代が最も多く、次いで60歳代となっており平均年齢は、当院69.9歳、全国70.1歳とほぼ同様となっております。発見経緯は、全国同様、がん検診・健康診断での発見が少なく、自覚症状を認め来院となった方が多くなっております。

観血的治療の治癒切除率を比較してみますと、当院76.6%、全国77.4%、沖縄県72.3%、実測生存率は、当院60.0%、全国63.8%、沖縄県57.8%と沖縄県の生存率が低くなっております。要因として、沖縄県は、IV期の割合が22.8%と全国一高く、進行された状態で発見された患者さんが多いことから、生存率が低くなったと考えられます。

大腸がんは、早期に診断、治療が開始できれば根治が可能ながんであり、当院では、「大腸がん早期発見プロジェクト」を立ち上げ、入院患者さんに対し、便潜血の無料検査を実施し、大腸がん死亡率低下を目指しております。

## 大腸がん(大腸癌)

5年生存率

	対象数	死亡数	打ち切り数	生存状況把握割合(%)	実測生存率	95%CI low	95%CI high	平均年齢(歳)
全体	14	12	0	-	-	-	-	-
I期	(1-3)	(1-3)	0	-	-	-	-	-
II期	0	0	0	-	-	-	-	-
III期	(1-3)	(1-3)	0	-	-	-	-	-
IV期	(4-6)	(4-6)	0	-	-	-	-	-

### 属性別集計対象数

性別	男性	女性				
対象数	11	(1-3)				
%	78.6					
年代	50歳未満	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	
対象数	(1-3)	(1-3)	(1-3)	(4-6)	(1-3)	
%						
UICC TNM分類総合ステージ	I期	II期	III期	IV期	不詳	空欄
対象数	(1-3)	0	(1-3)	(4-6)	(4-6)	0
%						
観血的治療の実施	無	有	治癒切除	非治癒切除	別不詳	
対象数	(7-9)	(4-6)	(4-6)	0	0	
%						
発見経緯	がん検診	健康診断	他疾患観察中	その他		
対象数	0	(1-3)	(7-9)	(4-6)		
%						

**全国  
実測生存率**

全体	63.8
I期	83.1
II期	75.6
III期	68.7
IV期	17.0

特になし

# まとめ

- この集計範囲におけるデータが示すこと：
  - 沖縄県の1期の5年生存率は低い
  - 沖縄県の2期の5年生存率は低い
  - 沖縄県の3期の5年生存率は低い
  - 沖縄県の4期の5年生存率は低い
- 当連携協議会が、施設別の5年生存率を、他の関連データと一緒にモニタリングしつづけ、必要な対応を取る必要がある